

# 国語科の授業改善に向けた学校支援

～説明文教材における「読み」「書き」関連指導を中心に～

連携協力校	上越市立下黒川小学校
アドバイザー	松本 修 教授
担当特任教員	寺田 喜男 特任教授
	中野 博幸 特任准教授

チームメンバー

中島 達彦 本田 修 山川 奈津子

# 学校支援のテーマと支援の内容

## 研究主題

「読みの力を高める指導法の工夫と改善」

説明文教材 「読み」「書き」関連指導

- ①研究の方向性を見出し
- ②研究授業における授業者支援
- ③研究授業後の成果と課題の明確化
- ④普段の国語科の授業における授業改善や資料提供
- ⑤教育活動全般のサポート

# 支援経過の概要

- ・ 8月 2年生研究授業指導案検討①②
- ・ 9月(～12月)教育活動全般への支援④⑤
  - 中島 1年生を中心に
  - 山川 4年生を中心に
  - 本田 5年生を中心に
- ・ 9月 2年生授業公開、協議会③
- ・ 10月 1年生研究授業指導案検討①②
- ・ 11月 1年生授業公開、協議会③
- ・ 11月 4年生授業公開(プロジェクト提案授業)①③④
- ・ 11月 5年生授業公開(プロジェクト提案授業)①③④
- ・ 11月 6年生研究授業指導案検討①②
- ・ 12月 「読み」「書き」関連単元の指導計画提案①④
- ・ 12月 6年生授業公開、協議会③

# (1) 2年生の授業研究

「だいじなところに気をつけて読もう」

教材 「サンゴの海の生きものたち」(光村図書2年上)

・・・教材文をもとに「生き物カード」を書く

## ○成果

・「**読み**」の**観点**を「**書き**」に生かす単元構成の在り方が  
見えてきた

教材文の「読み」

「書き」の観点

↓ 共通教材での「書き」 <練習ステップ>

自分の文章を書く <生き物カード>

## ○課題 読みのワークシート

## 2年生授業研究 ○課 題

### 問 い

どうしてクマノミはイソギンチャクの間にいるのでしょうか。

### 児 童

答え(1)・・・体の仕組みに着目

「ねばねばしたえきでおおわれているからさされない」

答え(2)・・・行動の目的に着目

「大きな魚に食べられないため」

どちらに着目  
する？

「書き」を意識した  
「読み」の重要性を認識

## (2) 1年生の授業研究

「くらべてよもう」

教材名 「じどう車くらべ」

(光村図書 1年上)

・・・自分の好きな自動車の説明文を書く

しごと

たかいところの人をたすける。

つくり

はしごが ついている。

教材文の読み

**「書き」の観点**

→ 共通教材で書く

→ 自分で文章を書く

(自分の好きな自動車)

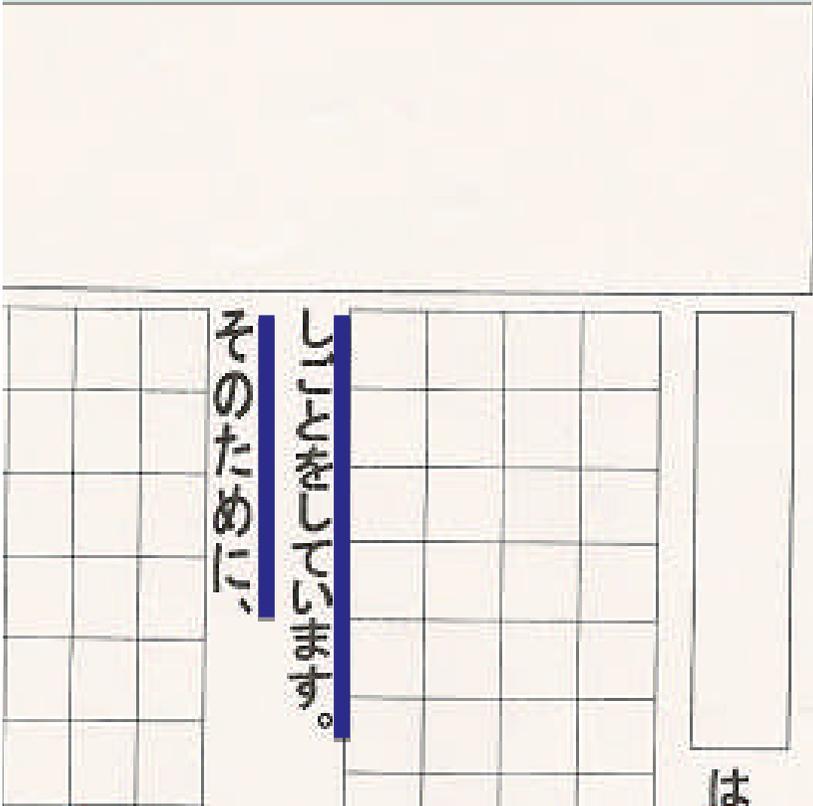
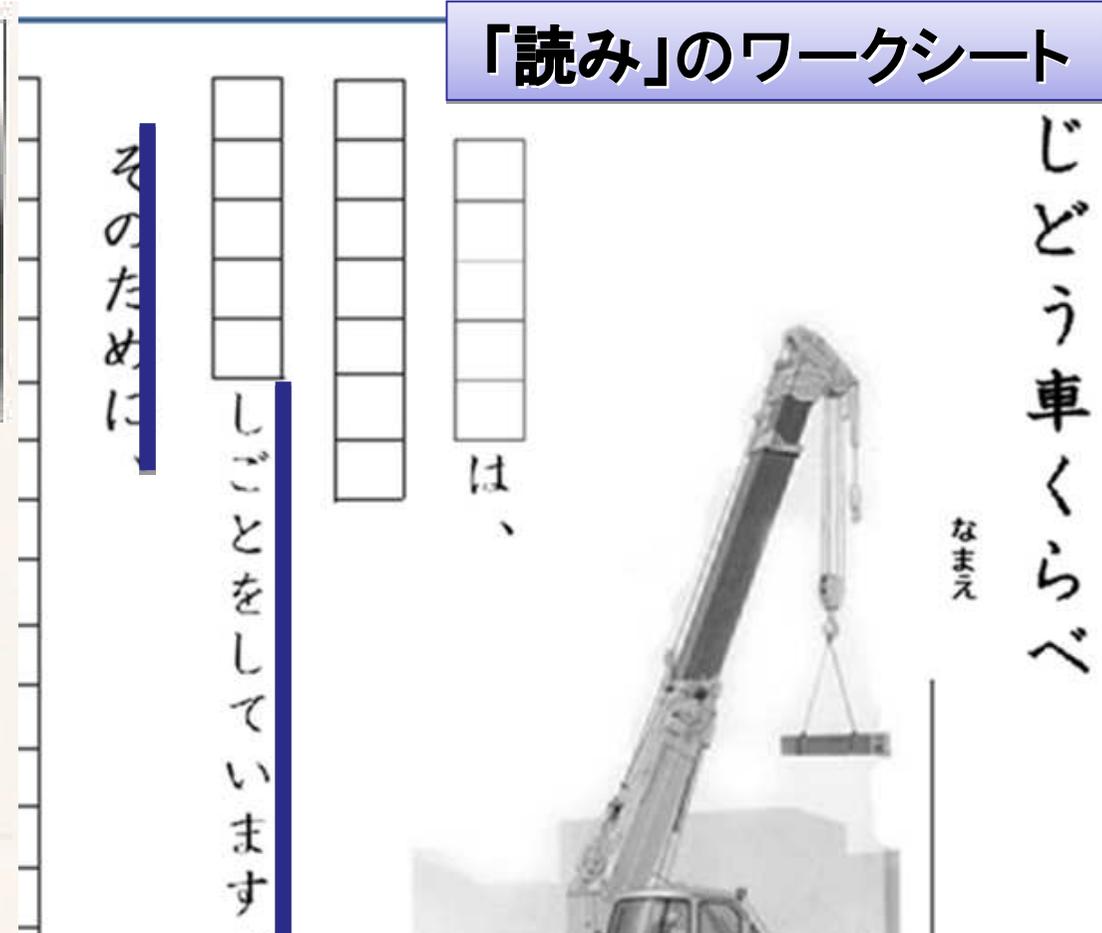


はしご車

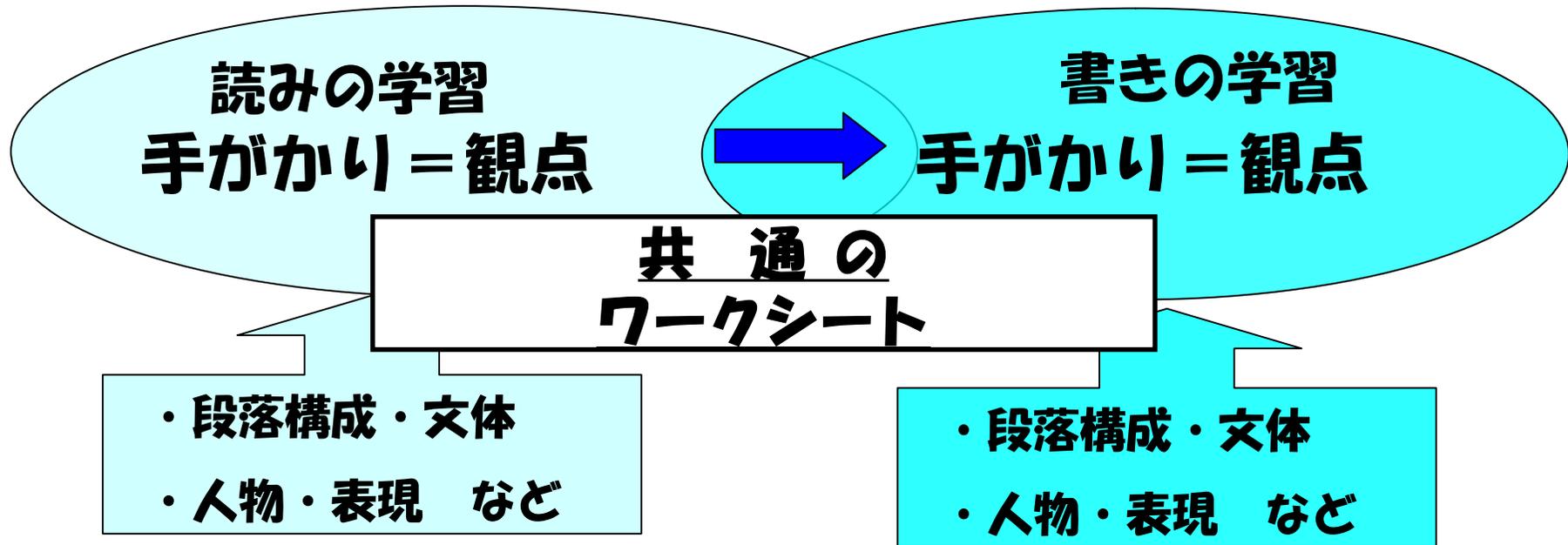
# 「読み」の学習を通じて

## 「書き」の観点を明確に

- 「読み」「書き」ワークシート  
... 共通の形式

「書き」のワークシート	「読み」のワークシート
 <p>そのためには、</p> <p>しごとをしています。</p> <p>は</p>	 <p>そのためには、</p> <p>しごとをしています</p> <p>は、</p> <p>なまえ</p> <p>じどう車くらべ</p>

# ○ 成果



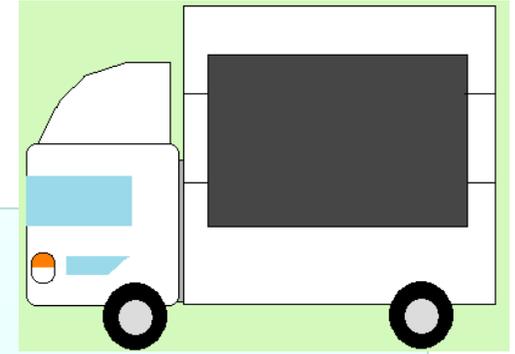
「読み」「書き」の関連性を意識

・・・「読み」で学んだことを「書き」に生かす

**読み書き関連単元への理解**



# ○ 課題



A児の説明文「いどうえいぞう車」  
いどうえいぞう車は、**車の名前**

にだいは大きなテレビになっていて、そこにえいぞうをうつすしごとをしています。**しごと**

そのために、にだいに大きなテレビがついていて、大ぜいがみられます。**つくり**

「読み」の学習での観点  
練習ステップのあり方



「しごと」と「つくり」  
の関係性を理解  
できていない



# (3) 4年生の授業研究

## 「報告書を書こう！～かがやけなないろ環境調査隊～」

### 1. 関連を図るために「読み」の学習で観点をどのように取り上げるか

- ①「読み」「書き」で共通ワークシートの使用
- ②観点を明確にするための教材の分割提示
- ③中の段落を組み立てるときの付箋の利用

段落構成

終わり		中	はじめ	段落
筆者の主張	まとめ		問い	内容(メモ・ポイント等)
道路にゴミを捨てないでほしい。	このように、ゴミは、よく利用で、ゴミがたくさんあります。	生ごみの利用が、ゴミの減量に効果的である。	生ごみの利用が、ゴミの減量に効果的である。	たまたま道路にゴミが落ちていた。拾ってほしい。など思っています。

☆説明文を書くために、はじめ・中・終わりに記をつけながら組み立てを書き進めよう。

意味段落

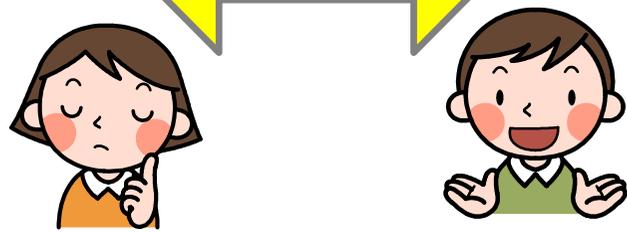
意味段落を作る例示

# 4年生の授業研究

## 「報告書を書こう！～かがやけなないろ環境調査隊～」

### 2. 観点を生かすための練習ステップのあり方

教師のモデル文をもとに、短冊を並べ替え意味段落を作る。



**観点の理解**  
→ 「書き」への活用

☆説明文を書くために、はじめ・中・終わりに気をつけながら組み立てを考えましょう。

終わり	中	はじめ	段落
筆者の主張	まとめ	問い	内容(メモ・ポストイットなど)
⑨ 下水処理場で、水をきれいにして川に流している。	④ 清澄な水が流れている。人たちがいる。	③ 上流と下流では住んでいる生き物の種類がちがう。	⑤ 海や生き物が少なくなってきた。
⑦ 生き物がたくさんいる。	① 思っていたより汚れていた。(パックのゴミが流れてきた。)	⑥ ちんちん(魚の赤ちゃん)を川に放流している人がいる。	⑧ 病気が発生した。(水俣病の噂が流れた。)
⑧ 川の水が汚れている。	② 川の水がきれいになった。		

川について。  
川にはいろいろな生き物がいる。

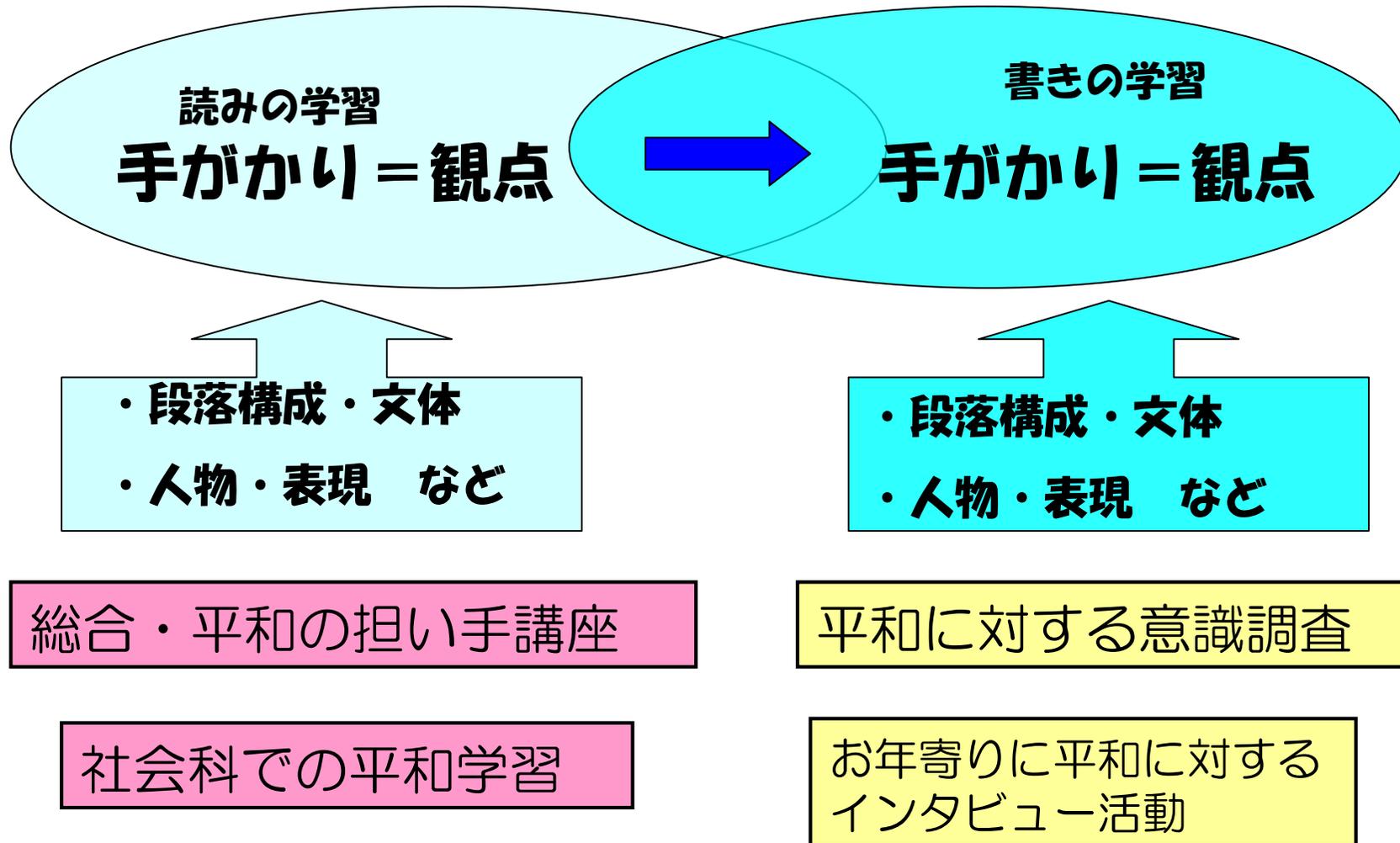
意味段落の名付け(小見出し)

モデル文を並べ替え

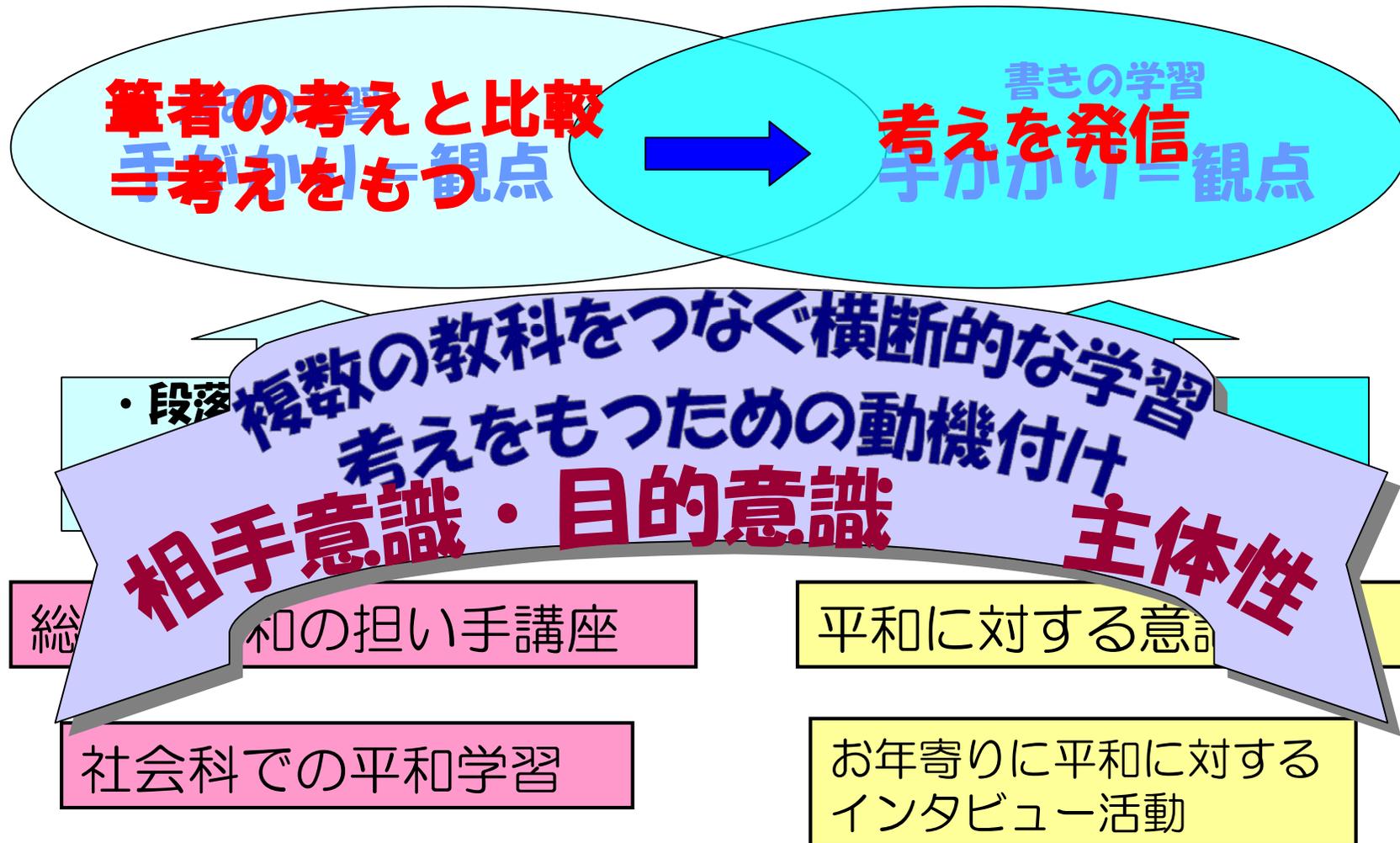
理由



# (4) 6年生の授業研究 「伝えよう！私たちの『平和』」



# (4) 6年生の授業研究 「伝えよう！私たちの『平和』」



# 6年生の授業研究

必要な情報

よう！私たちの『平和』

世界、日本で、平和をしめしているものをしらべ

なぜそれがテーマか	平和をしめす平和でない、平和がなくなると (平和じゃない → 平和にわた) (例) またから
最後の主張	そのものの型がしめしているものか、後の 世界につないで、たくさんの人に知らせたい平和に繋がりに
必要な情報	どういった風にどんな平和をしめしているか？ 文化遺産、世界遺産など
調べる方法	パソコンで調べ、本で調べる。
表現の方法、工夫	良い所悪い所を善く、見るだけでわかるなど、 主張を強くするためにしめしているものの型をのせる。

知って  
もらうと  
世界に  
平和が  
広がる。

必要な情報

仮の要旨

お年寄り  
みんな

お年寄りのために平和を示しているものを調べ、世界は平和につながることを知らせる必要がある。

ながさを

# 6年生の授業研究

## 「伝えよう！私たちの『平和』」

### 子どもの作文より

ぼくは、聞き書きをしているときに、**相手意識**の方が「あまり平和じゃない。」や、「目立つ建物があつたら平和と感  
じるんだらうね。」などとお答えくださいました。他にも、「平和と感じ  
「平和と感じ  
くださいました。

なので、遠く  
とめたことを  
いた。...

情報

融合させ効果的な文章にするには？

仮の要旨

目的意識

・ **平和**→より身近なもの

・ **相手意識**・**目的意識**の明確化

~~仮の要旨~~

~~「平和がつながっていること」~~

## (5) 研究推進委員会や

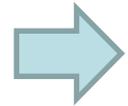
### レポートをもとにした職員研修への支援

- ・ 目的意識や相手意識を高めるゴールの設定
- ・ 「書き」を意識した「読み」の学習展開
- ・ 各自の「書き」の前の全体練習ステップ
- ・ 意欲を高める環境構成

# 支援の成果と課題

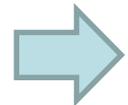
## ○成果

- ・「読み」と「書き」の関連を図る際の効果的な観点



読みの力が高まった子どもの姿を具体的に描ける。

- ・日常的な取組の重要性への気付き



授業観や子ども観が深まる。

# 支援の成果と課題

## ○課題

- ・校内研究としてのつながりが弱く、単発的
- ・日常的な授業レベルでの行為への具体化



研究授業後も、日常的に研究の方向性を確認できる時間を設定する。

協議会で確認できたことをまとめ、共有化を図る手だてを工夫する。

研究の方向性を早期に確認し、共通理解を図る。